

りっとう議会だより



No.209

2024.2.1 発行

大きな栗の木の下で

葉山中

栗東中

地域交流

あいさつ運動

環境美化

広報活動

栗東西中

市内中学校で趣向を凝らした
生徒会活動が展開中

特集

子どもたちが主役！イマドキの生徒会選挙

議案

12月定例会

委員会

各常任委員会ピックアップ

個人質問

ここが聴きたい 市政を問う

P 8

P 6

P 4

P 2

生徒会長・副生徒会長の皆さん

当たり前 相手にとっては 違うかも (人権啓発作品集 標語入選作品)



候補者の思い

孤独をなくすためにあいさつ運動をしたい!
学年を超えた交流会を開催し、楽しい学校を作りたい!
意見箱を設置してみんなの意見を聞きたい!
みんなが楽しめるように体育祭競技の見直しをしたい!
他校との交流会をして良いところを取り入れたい!
地域への貢献活動をして信頼関係を築きたい!
いじめをなくしたい!

葉山中学校

「自分たちの学校をどうしていきたいのかを考えて投票してください!」と現生徒会長からのメッセージで始まったのが印象的!みんな真剣に演説を聞いていました。



校長先生の願い

のびのびと生徒会活動をしてほしい。



学校をよくしていきたい人が立候補

生徒会選挙

生徒会選挙

栗東西中学校	葉山中学校
会長・副会長	会長
登下校時の街頭活動 (希望者)	手書きポスター掲示
(各教室にて)	対面(体育館にて)
各教室	
選挙管理委員会によって即日開票	
翌登校日	



下がり続ける投票率…

2022年	栗東市長選挙	38.97%
2023年	栗東市議会議員選挙	38.20%
2023年	守山市議会議員選挙	47.46%
2023年	草津市議会議員選挙	41.50%

※栗東市においては、前回の市議会議員選挙(2019年)の投票率39.45%からさらに下がり、他市と比べても投票率が低く、市政への関心の低さが伺えます。

求められる「主権者教育」～自ら考え、判断し、行動する子どもたちの育成～

2015年に公職選挙法の一部を改正する法律が成立・公布され、2016年から選挙権を有する者の年齢が満18歳に引き下げられました。また、全国的に選挙の投票率は低下傾向にあり、とりわけ「若者の政治離れ」が懸念されています。

これらに伴い、子どもたちが政治や社会のことに興味を持ち、それを「自分ごと」として考えた上で選挙などに参加する態度を養うことが求められています。



ココが投票の決め手!



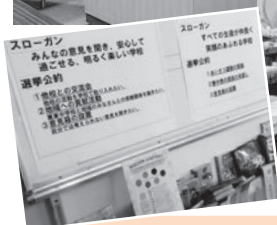
- 公約の内容がしっかりしている人
- 画面越しに伝わるエネルギー(雰囲気)で決めた
- 街頭活動をしていた人は
当選後も頑張ってくれそう!
- 日頃からみんなを引っ張ってくれているのを知っているから
- ユーモアがある人
- 責任感がある人
- 人の話を聞いてくれそうな人



投票の様子

栗東中学校

事前に全生徒が「どんな学校がいいか。そのためにどんな取り組みが必要か」のアンケートを回答し、その結果をもとに立候補者が公約を考えたそうです。演説中アンケートの結果が反映されているか、確認しながら真剣に演説を聞く様子がありました。



校長先生の願い

自分たちがしたいことを提案できる「自己主張ができる生徒会」であってほしい。

栗東西中学校

2年生の立候補者が3年生の先輩に推薦人依頼をするなど、学年を超えたつながりに驚きました。推薦人が、立候補者のこれまでの実績の報告をしていて説得力がありました。

校長先生の願い

「一人一人が主人公」 自分たちで考えを出し実現していくことが社会にも通じることだと学んでほしい。

この人なら!と思う人に投票!

子どもたちが主役!

イマドキの

栗東市内3中学校の

選挙方法		栗東中学校
被選挙(選ばれる役職)		会長・副会長
選挙活動	活動内容	公約を掲示
	演説会	オンライン
投開票	投票場所	
	開票	
	結果発表	

「主権者教育」栗東市では…

- 小学校の社会科、中学校の公民の授業で子どもたちが学習
- 県と市の選挙管理委員会により、実施を希望した小・中学校で出前講座が開催され、模擬的な選挙を体験

など

私たちは栗東市の投票率の低さに危機感を覚え、これからの未来を担っていく子どもたちの投票率を上げるために、子どもたちが何に関心を持っているのか、また、生徒会選挙どのような形で行われているのかを知る必要があると思い、取材させていただきました。



「学校」と「栗東市」の違いはあってもより良くしていきたい気持ちは私たち議員と一緒にでした。生徒会をきっかけに市議会にも興味を持ってもらえるよう積極的に子どもたちとの交流の場を設け、子どもたちの思いも市政に反映できるよう取り組んでいきたいです。

取材担当:谷口律香 島田利恵

審議した議案など

	件名	採決結果		件名	採決結果
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて (氏名:上田 弘 氏)	同意・全		栗東駅前広場管理条例及び手原駅自由通路等の設置及び管理に関する条例 (有料広告事業を実施するため)	可決・全
新たな条例	一般職の任期付職員の採用等に関する条例 (令和7年の国民スポーツ大会・障がい者スポーツ大会開催にかかる業務等の増加に対応)	可決・全	条例(一部改正)	道路占用料条例 (道路施行令の改正に伴う改正)	可決・全
	行政財産使用料条例 (行政財産の使用料について必要な事項を定めるため)	可決・全		市立幼稚園の設置及び管理に関する条例 (令和6年4月に大宝幼稚園を幼稚園から幼稚園型認定こども園に移行)	可決・全
	市立幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例 (令和6年4月に金勝第一幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行)	可決・全		国民健康保険税条例 (健康保険法等の改正に伴う改正)	可決・全
条例(一部改正)	市長、副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等、勤務時間その他の勤務条件に関する条例 (人事院勧告に伴う期末手当の支給月数の改正)	可決・別表		手数料徴収条例 (戸籍法の改正に伴う改正)	可決・全
	職員の給与に関する条例及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 (人事院勧告に伴う給料月額、期末勤勉手当の支給月数の改正)	可決・全	その他	財産の取得につき議会の議決を求めることについて (草津川跡地整備事業における用地取得のため)	可決・全
	福祉医療費助成条例 (子ども医療費助成対象者を高校生世代まで拡大)	可決・全		指定管理者の指定について (老人福祉センター及び身体障害者デイサービスセンターの指定管理者として社会福祉法人栗東市社会福祉協議会を指定する)	可決・全
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 (就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴う改正)	可決・全	決議	ハマス等、パレスチナ武装勢力及びイスラエル双方に対して、直ちに停戦を求め、日本政府に対してその実現に向けて働きかけることを求める決議	可決・全
			議提案	栗東市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	可決・全

令和5年度 一般会計・特別会計 補正予算				
会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計(第6号)	8億8,895万8千円(増額)	281億3,698万6千円	民生費の増額等	可決・別表
国民健康保険特別会計(第2号)	355万円(増額)	55億4,107万6千円	諸支出金等の増額	可決・全
後期高齢者医療特別会計(第2号)	453万8千円(増額)	7億6,337万7千円	総務費の増額等	可決・全
介護保険特別会計(第2号)	1,326万9千円(増額)	43億2,749万5千円	諸支出金の増額等	可決・全
大津湖南都市計画事業栗東新都心土地区画整理事業特別会計(第1号)	1万6千円(増額)	6,562万9千円	土木費の増額	可決・全
水道事業会計(第1号)	1,332万2千円(増額)	23億8,000万4千円	営業費用等の増額	可決・全
公共下水道事業会計(第1号)	254万7千円(増額)	32億3,949万8千円	営業費用の増額等	可決・全
農業集落排水事業特別会計(第1号)	20万7千円(増額)	3,780万7千円	農林水産業費の増額	可決・全
一般会計(第7号)	3億2,740万6千円(増額)	284億6,439万2千円	民生費の増額	可決・全

特集

定例会

委員会

個人質問

議会トピックス

活動レポート

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(多=賛成多数、少=賛成少数 ○…賛成、●…反対)

案件	会派名 議員名	賛成 の数	新政会							ネットワーク			公明		共産		究理		未来
			三木 敏嗣	中野 光一	里内 英幸	梶原 美保	西田 聡	寺田 靖広	奥村 明	田村 隆光	上石 田昌子	谷口 律香	川嶋 恵	塩見 隆	青木 千尋	伊吹 裕	武村 賞	櫻井 浩司	島田 利恵
予算	一般会計補正予算 (第6号)	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
条例	市長、副市長の給与等に関する 条例及び教育委員会教育 長の給与等、勤務時間その他 の勤務条件に関する条例	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○

*議長(上田忠博議員)は採決に加わらない

*会派名の正式名称は次の通り ネットワーク(栗東市民ネットワーク)、公明(公明栗東)、共産(日本共産党栗東市議団)、究理(究理の会)、未来(未来創造りっとう)

ハマス等、パレスチナ武装勢力およびイスラエル双方に対して、直ちに停戦を求め、 日本政府に対してその実現に向けて働きかけることを求める決議を可決しました

ガザ危機は2023年10月7日にハマス等によって行われた無差別攻撃が契機となり戦闘が激化した。イスラエルは圧倒的な軍事力を持っており、難民キャンプや病院、救急車等が攻撃され、子どもを含む多くのパレスチナ人が殺害された。民間人を無差別に攻撃することは国際法違反であり、強く非難されるものである。12月12日、国連総会は緊急特別会合を開き「即時の人道的停戦」を求める決議を賛成多数で採択した。日本政府は、イスラエルとアラブ諸国との関係を築いてきた立場を活かし、ハマス等パレスチナ武装勢力およびイスラエルに攻撃を即時中止するよう求め、両者が「即時の人道的停戦」のための協議に参加するよう外交努力を行うことを求める。

会議は傍聴 できます



本会議や委員会では、私たちの生活に関わる大切なことが審議されています。傍聴をご希望の方は、本会議などの会議開催日に市役所4階 議会事務局までお越しください。

①議会事務局(市役所4階)で受付を行う

名前・住所などを記入
します



②傍聴者入口(市役所5階)から入る



③傍聴席に座り傍聴する



傍聴 にお越しください

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。

- ・開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。
- ・日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承ください。
- ・議場には車椅子を利用されている方の傍聴者席を設置しています。
- ・手話通訳者の配置をご希望の方は事前に議会事務局へ連絡をお願いします。

●問い合わせ 議会事務局(市役所4階)

TEL:551-0137 FAX:551-0146 ☎:gikai@city.ritto.lg.jp

3月定例会の予定

(土・日・祝は除く)

2月27日	本会議(議案上程等)
3月 5日～ 6日	本会議(代表質問)
6日～ 8日	本会議(個人質問)
11日～ 18日	各常任委員会
22日	本会議(委員長報告・採決)

これまでの議会の様子は、YouTubeの動画でご覧いただけます。
栗東市のホームページにリンクがありますので、ご参照ください。

二次元コード
で録画映像が
見られます▶



常任委員会ピックアップ

～12月定例会での審査内容の一部概要をお伝えします～



※委員長報告を映像で
ご覧いただくことができます

予算常任委員会

コロナ対応の交付金を 低所得者に給付

◆令和5年度一般会計補正予算
および特別会計補正予算に
対して審査しました。

・人事院勧告による特別職・
一般職の給与改定について

問 近隣市に比べて、まだまだ
本市の給与水準は低い。ラ
スパイレス指数(※)につ
いて、現在、滋賀県におけ
る栗東市の位置はどのくら
いなのか。

答 (19市町のうち)県内で下か
ら3番目である。

・令和5年度住民税非課税世
帯に対する重点支援給付金
(追加)について

国からの7万円で市単独(新
型コロナウィルス感染症対
応地方創生臨時交付金を活
用)の1万円を加算し8万円
を給付

問 今回、低所得者への給付と
なるが、地域課題を吸い上
げ、住民税非課税世帯だけ

でなく制度の狭間にいる低
所得で課税対象になってい
る方が生活に苦しんでおり、
そういったことも考慮いた
だきたい。

答 今日まで、省エネ家電購入補
助、給食費の一部無償化など
に対する活用で、全市民、子
育て世代を対象に充当して
きたことから、今回は低所得
者とした。新たな追加交付分
も予定されているので、今後
の活用については、価格高騰
に対する影響を踏まえなが
ら検討を重ね、地域課題も考
慮しながら有効活用してい
きたい。

※ラスパイレス指
数とは、国家
公務員の給与
を100とした場
合の地方公務
員の給料水準
を指数で示し
たもの



総務常任委員会

任期付き職員の採用についての 条例を制定

◆任期付き一般職員の採用に
ついての条例の制定につい
て審査しました。

問 スポ・障スポを見据えて
の条例制定だと思うが、採
用人数、任期、職種や資格
についての考え方は。

答 5人を採用予定で、任期は2
年を想定している。高度な専
門的知識の必要性は考えて
いないが、業務経験者を探す
とともに、一般的に広く募集
をしていく。会計年度任用職
員では担えない業務に携わっ
ていくため、任期付き職員と
している。

問 スポ・
障スポ以外
の今後の展
開は。

答 育児休業
や部分休業
を取得する
職員の代替
業務につい



▲条例制定後の採用広告

でも想定している。今後、整
理しながら進めていきたい。

◆庁舎の玄関と1階エレベ
ーター横に、有料広告を掲載
できる条例の制定について
審査しました。

問 現在も関係団体等の掲示物
もあり、有料広告の実施に
ついてはルールが必要であ
る。全体的な景観も必要で
は。

答 内部マニュアルを作成し的確
な広告物が掲出されるよう、
チェック体制をもち実施する。
問 入札やプロポーザルはどの
ような想定をしているか。

答 まず、広告募集を行う所管
課が事前審査を行い、その後
広告審査委員会でチェック、
その後の入札となるため、一
定のフィルターをかけたもの
が入札にかかる。

「常任委員会」とは

市政は範囲が広く内容も複雑なため、市議会では、委員会を設けて本会議の予備的な審査や重要な事柄の調査をしています。現在、4つの委員会に分かれ、議案などを審査しています。

各常任委員会 委員の紹介 (◎委員長 ○副委員長)

- 予算** ◎上石田 昌子、○川嶋 恵、議長(上田 忠博)を除く全員
総務 ◎川嶋 恵、○上石田 昌子、中野 光一、寺田 靖広、島田 利恵
環境建設 ◎武村 賞、○梶原 美保、田村 隆光、三木 敏嗣、里内 英幸、伊吹 裕
文教福祉 ◎西田 聡、○青木 千尋、櫻井 浩司、塩見 隆、奥村 明、谷口 律香

環境建設常任委員会

栗東駅・手原駅の自由通路に 有料広告を掲載

◆栗東市栗東駅前広場管理条例及び栗東市手原駅自由通路等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について審査しました。

問 栗東駅および手原駅の広告収入は、どれぐらいの金額を見込んでいるのか。

答 栗東駅は180万円程度、手原駅は20万円程度、合わせて200万円程度見込んでいる。

問 広告収入は主にどういう経費に充てるのか。

答 自由通路の壁面、天井の張替えや、駅舎の構造的な部分の修繕等に充てる。

問 条例改正に利用料を記載せず、規則に利用料を委ねている。本来は条例に記載すべきである。今後は議会の審査を重んじるべきである。

答 金額を規則で定めたことは、適正な金額となるよう内部で調整し、変更出来るようにするものである。



▲審査の参考とするため、現場視察が行われました(栗東駅)

問 広告は、まとまれば綺麗に見えるが、混在すると見苦しくなる。例えば、建設関係、観光関係などエリアに分けると良い。プロポーザル方式で提案される部分もあるので、そのあたりは検討する必要があります。

答 有料広告については、有料広告事業マニュアルに沿って、市の広告審査会に諮り、適切な形の掲出となるよう対応する。

文教福祉常任委員会

幼保連携型認定こども園・市立幼稚園の 設置及び管理に関する条例について審査

◆令和6年4月1日より金勝第一幼稚園を幼保連携型の認定こども園に、大宝幼稚園を幼稚園型認定こども園に移行するため、所要の改正をおこなうものです。認定こども園化により、年齢の垣根を越えた幅広い交流ができることが期待されます。

問 現行の幼稚園からこども園になることによって、職員数は変化するのか。

答 幼稚園についても教育保育合同であるため、職員数は大きく変わることはない。

問 今後、他の幼稚園がこども園に移行する計画はあるのか。

答 順次、移行していく計画を進めており、まずは金勝第一幼稚園と大宝幼稚園の2園を来年度から実施していく。



◆「栗東市の障がい福祉行政(視覚障がい)に関する要望書」、「特性を持った子ども達の学び習い事の支援に関する要望書」、「2023年度栗東市学童保育事業に関する要望書」の3件について協議しました。市民の安心安全な生活にむけて、できることから速やかに実施していく認識で一致しました。そして、市民福祉のさらなる向上と子育て支援の充実にむけて委員が活動していく決意を新たにしました。

個人質問

ここが聴きたい
市政を問う

12月12・13日に、13人が質問しました。

質問と答弁の要旨をお知らせいたします。

なお、紙面の都合上、主な質問のみ掲載しています。すべての質問については、YouTubeにて本会議の様子を視聴できますので、ぜひご覧ください。

問 … 議員の質問
答 … 市からの回答
意 … 議員の意見

個人質問の
全体映像は
こちらから▶



議席番号	質問者	質問事項
12	上石田昌子	こどもの権利を守るための条例制定を求めることについて
11	谷口 律香	教育費の使い道〜くりちゃん検定の代替案について〜
		公共施設の予約の利便性向上のために
7	西田 聡	協働のまちづくり推進に向けて 〜まちづくり出前トークの積極開催を〜
13	田村 隆光	名所旧跡の説明板のリニューアルで観光振興を!
6	寺田 靖広	社会実験の実施について
9	里内 英幸	防災重点農業用ため池「川辺灰塚池」の現状と将来について
		市内農業の生産力向上を目指した取り組みについて
10	島田 利恵	気候危機対策の核となるCO ₂ ネットゼロを実効的に進める 対策としての「断熱」について
15	武村 賞	学校図書館の充実について
3	塩見 隆	支援が必要な人を誰ひとり取り残さない地域社会
4	川嶋 恵	図書館の「めざす姿」
1	青木 千尋	75歳以上の高齢者に「人間ドック健診」の助成制度の創設を
		発がん性がある有機フッ素化合物の検出で栗東市水道水の安全性は
2	伊吹 裕	誰もが安心して利用できる介護保険制度を
14	櫻井 浩司	栗東健康運動公園のありかたについて



こどもの権利を守るための条例制定を!

上石田 昌子 議員

問

いじめや虐待件数、小中高生の自殺数や過去最多といわれる不登校児童生徒数からも、子どもを取り巻く環境はいまだ厳しい状況である。4月1日より国の「こども基本法」が施行され、県も「仮称滋賀県子ども基本条例」の策定に動き出しているが、本市の子どもの権利確保の状況を問う。

答

貧困や虐待等は福祉部局と教育・部局、関係機関が連携し支援や対応を行っているが、不登校児童生徒の増加は喫緊の課題と考える。

問

いかに子ども自身が生きる力と権利を大切に、本市で伸びやかかつ健やかに育つことが出来るのか、庁内検討会議の進捗と子どもの参画についての方性を問う。

答

21課による庁内準備会議やこども家庭局内で検討会議を立ち上げ、こども基本法等の理解を深めるとともに、職員の意識醸成や各課の施策・事業の洗い出しを行い、「子どもの意見を聴く・伝える仕組みの検討」を今後も進めていく。

問

計画にせよ予算化にせよ、根拠となる条例は必要かと思うが、見解を問う。

答

今後、「こども大綱」が策定されるなどの状況を踏まえ検討する。





限られた教育費の有効活用を!

谷口 律香 議員

問 くりちゃん検定の課題は。

答 令和3年度よりICT端末を活用したくりちゃんチャレンジに変わり、回答を導く過程が省かれている可能性から学力の定着が図れない児童がいる。

問 教職員のICTスキルの習得と指導への不安をどのように解消しているのか。

答 ICT活用研修などを開催するとともに、学習準備の短縮や授業改善に役立つICTツールの導入を検討している。

意 基礎学力の下支えはドリルやプリント学習でもされている。くりちゃんチャレンジより他市で頻繁に使用されているそのICTツールを導入することの方が優先順位が高いと考える。今の子どもたちに必要なことに教育費を充てていただきたい。

ICT活用研修などを開催するとともに、学習準備の短縮や授業改善に役立つICTツールの導入を検討している。



公共施設の予約を便利に

問 毎月行われているスポーツ開放調整会議を草津市のように年1回にするなど利用者の予約の負担軽減を図ることはできないか。

答 メリット・デメリットを総合的に考えていかなければならない。

問 オンライン予約が可能な公共施設予約システムの導入は考えているか。

答 現在、導入の課題等を確認している。早期に導入できるよう取り組みを進める。



協働のまちづくり推進に向けて ～「出前トーク」の積極開催を～

西田 聡 議員

問 今年度の開催状況について伺う。

答 12月1日時点で申込件数は56件、46件が開催済みである。参加人数は、延べ1068人である。

問 「出前トーク」事業実施にあたり、課題として認識していることは。

答 65のテーマがあるが、申し込みに偏りがあるため、幅広く関心をもっていたための工夫が必要である。

問 「出前トーク」終了後に参加者が記入するアンケートはどのような内容であるか。

答 評価や感想、今後のメニュー設定の参考にするために聞きたい内容となっている。

問 これまで実施してきた中で、新しいまちづくりへのきっかけ、あるいは事業の改善につながったという具体事例は。

答 具体事例は集約していないが「出前トーク」への参加が市政へ参画するきっかけにつながると認識している。

意 市民との対話を通じて、市政やまちづくりに対する意見や提案を広く聴き、今後も行政情報を積極的に提供していきたいと考える。



▲認知症サポーターを養成する出前トーク



▲栗東市まちづくり出前トーク



名所旧跡の説明板のリニューアルで観光振興を!

田村 隆光 議員

問 市内文化財等の説明板は観光客や住民にとって貴重な情報源であり正確で最新の情報を提供するべき。説明板の整理と更新について伺う。

答 教育委員会でも市指定文化財を中心に設置・改修を行っている。現在、要改修と確認している説明板は4か所あり、順次改修する。

問 国および県指定文化財等の説明板についての対応を伺う。

答 市指定文化財とのバランスを考えたながら設置や改修を検討する。

問 訪日外国人等に観光地の魅力を伝わりやすくするために説明板の多言語化等の対応について文化庁から指針が出ている。本市の多言語化への対応を伺う。

答 現在の説明板は市独自のもので多言語化には対応していない。今後、設置・改修する場合の多言語化は必要と考えており、文化庁の指針を参考に検討していく。

問 観光パンフレットの更新サイクルについて伺う。

答 観光パンフレット「ぶらり栗東」の配布状況も踏まえ、概ね年度の見直し・更新を行っている。



寺田 靖広 議員

社会実験で新たな取り組みを

問 公共交通サービス選択肢を吟味・選択できる環境を整備するために、社会実験を検討できるか。

答 移動手段を選定、検討を行ううえで有効である。

問 コミュニティバスについて、期間限定で路線延長をしたり、最終バスの時刻を遅くする社会実験を実施できるのではないか。

答 社会実験も一つの手法と考える。

問 新しい方法を模索してより多くの方に利用してもらえ公共交通安全サービスの導入を検討できるか。

答 本市の現状と課題を踏まえ、他市の事例などの情報収集を行い、地域公共交通活性化協議会において検討していく。

意 社会実験で公共交通サービスがより一層充実することを期待している。

問 市がイベント開催日を調整することは可能か。

答 関係者間で協議、調整ができれば、近隣イベントの同日開催は可能。

問 栗東駅前とさくらシンボル広場と一体としたイベントを社会実験として実施できるか。

答 地域の活性化を目的として、関係機関と協議・調整を図ることにより交通規制は検討できる。

意 社会実験により、新しいことを始めることも出来ると感じていただきたい。



▲栗東市コミュニティバス「くりちゃんバス」

里内 英幸 議員

防災重点農業用ため池「川辺灰塚池」の現状と将来

問 「灰塚池」から取水する川辺・下鉤地区の現在と過去2000年の農業圃場面積と、今の市街化調整区域面積を問う。

答 2020年農林業センサスの数値では川辺13ha、下鉤39ha、2000年では川辺90ha、下鉤158ha。現在、市街化調整区域面積はない。

問 「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に伴う「推進計画」の進捗を問う。

答 県により「豪雨耐性評価」、「劣化状況評価」、市により「地震耐性評価」を行った。

問 灰塚池の将来像を問う。

答 受益面積が減少しているという課題もあることから「都市計画公園」の将来像に向け、地域や関係者の意向を確認しながら取り組む。



▲灰塚池

市内農業の生産力向上を目指した取り組み

問 道の駅、農産物処理加工施設、田舎の元気や等への出荷農産物の生産状況をどのように認識されているかを問う。

答 園芸施設整備事業等の支援を受けるながら、作付け面積は増加しているが、販売額は減少している。

問 生産誘導等を含め、今後の取り組みの必要性を問う。

答 需要を把握し、県・JA等と連携しながら、安定的な生産力向上に取り組む。

島田 利恵 議員

持続可能な栗東市のカーボンニュートラルの実現に向けて

問 栗東市での気候危機対策の現状は。

答 環境政策係を中心に環境基本計画に基づく具体的な取組みを行っており、廃食用油の回収等で一定の温室効果ガス削減の効果がある。

問 栗東市環境基本計画行動計画での気候危機対策の有無の予定は。

答 地球温暖化を抑制する取り組みについて記載予定。断熱・遮熱対策では断熱等の対策を含めた住宅の省エネルギー化について推進する。

問 「学校断熱ワークショップ」の実施予定は。

答 建物の断熱を体験し重要性を学ぶことは児童生徒の意識を高める環境教育の一つと考えられる。

問 栗東市の気候危機対策について竹村市長の意気込みは。

答 本市として大変重要な問題であると認識している。カーボンニュートラル実現に向けて行動計画の作成に取り組んでいる。

意 地球沸騰の時代と言われ、エネルギー高騰も重なり、待ったなしの状況である今、事業者や市民の皆様意識だけに頼らず、当事者意識を持って積極的な削減の足し算が記載された行動計画策定を求む。



▲断熱ワークショップ動画(伊香高等学校)



▲県内初開催の伊香高等学校での「断熱ワークショップ」の様子



学校図書館の充実

武村 賞 議員

問 文部科学省が自治体を対象に図書購入費調査を実施した。本市小中学校の図書購入予算額と達成率は。

答 469万7000円、達成率は35.5%。

意 令和4年度の図書購入費の全国平均は618万3000円、達成率は57%なので、本市はかなり低いと考える。

問 学校図書館図書標準に基づく学級数に応じた蔵書数とその達成状況は。

答 11月末で小学校は74.9%、中学校は63.4%。

問 文部科学省は、教師の働き方改革を進めている中、教育現場の第一線で活躍している教師が「司書教諭」として、学校図書館の中心的な役割を担っている。仕事の軽減を図るため、学校司書の役割は重要である。小中学校に何名配置しているのか、勤務形態は。

答 学校司書は2名で、一人で6校を担当、前期に3校、後期に3校勤務し、1日4時間、週4日の勤務である。

問 学校図書購入費の増額や学校司書の増員を望むがどうか。

答 教育関係の充実には、多面的な施策が必要である。学校図書館の充実も含め検討する。



▲葉山小学校図書室



知的・発達障がいがある場合の8050問題

塩見 隆 議員

問 子どもに知的・発達障がいがある場合の8050問題における本市の具体的取り組みは。

答 相談に対しては、広く支援が行きわたるよう丁寧に必要な支援やサービスにつないでいる。

問 この8050問題の現状における課題と将来的課題は。

答 課題が顕在化しにくくケース対応への優先順位が低くなり、結果的に対応が遅れてしまう。将来的な課題としては、当事者は年齢を重ね、身体的、経済的に維持ができなくなる時が訪れる。また、それは急激に訪れることが多いことから、現状の維持ができなくなつてはじめて支援開始となつた場合、支援の選択肢が非常に限定され、十分な支援が提供できない場合もあることが大きな課題と考える。

問 これらの課題解決のための考え方や取り組み方針は。

答 まずは早い段階での実態把握と関係機関での情報共有、必要に応じての支援開始と考えている。令和6年度からの重層的支援体制の本稼働に向け取り組んでいる。まさに本市がこれから取り組んでいく支援の典型的な事例として認識しており、今後とも、支援が必要な人を見逃さない取り組みをより一層進めていく。



図書館のめざす姿

川嶋 恵 議員

問 地域の情報拠点として図書館が機能していくために、市民の第三の場として地域の図書館の位置づけは。

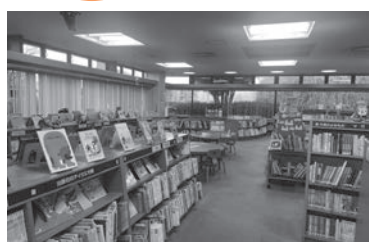
答 今後、日常生活における居場所、お気に入りの場所をめざす必要がある。

問 居心地のよい空間として、来館したくなる空間づくり、全世代が満足できるレイアウトや空間づくりの取り組みは。

答 図書館へのニーズが多様化する中、目的に対応できる資料、それに合わせた空間を整備する必要があると考える。子どもたちには、安心して本の読める場所であり、大人が見守れる場所であること、学生世代はカウンターから離れた場所でのコーナーの設置、高齢の方にはカウンター近くにコーナーを設置するなど、利用者のニーズに合わせた対応に取り組む。

問 身近な公共施設として、図書館のめざす姿を市長に伺う。

答 近年は読書の目的と、「コミュニティの場としての役割も担っている。いくつかの課題も認識しており、市民の声に応えられるようしっかりと取り組む。



▲栗東市立図書館本館(上) 西館(下)

青木 千尋 議員

75歳以上「人間ドック健診」に助成の創設を

問 75歳以上の高齢者にも「人間ドック」費用の助成制度を求める。なぜできないのか。

答 県内においては後期高齢者広域連合が主体となつて県下統一した運営を行っているため現在のところ考えていない。

発がん性のあるフッ素化合物の検出で市の水道水の安全性は

問 令和4年8月22日の検査で本市の出庭、十里、金勝各水源地の浄水で国の暫定基準(50ng/L)には達していないが、最大値30ng/Lを検出した。現状は。

答 昨年の時点で暫定目標値以下のため、追加検査はしなかったが、出庭水源地で目標値の50%超の数値を検出したため次回検査で検査箇所を増やし、出庭水源地の源水井戸についても追加検査を実施する。



https://www.env.go.jp/content/0150400.pdf
▲PFOS、PFOAに関するQ&A集(環境省)

問 今年になりフッ素化合物の報道が多くなっている。現時点として現状の発表が必要でないか。

答 現状では検出数値の公表までとしている。暫定目標値を超過する状況が見込まれ、情報提供が必要な時は市の対応などについて説明を行う。



問 発生源の調査は行ったか。

答 独自の調査は行っていない。今後、検出値が暫定目標値を超過する場合、環境部局、県とも情報共有し、発生源調査についても対応していく。

伊吹 裕 議員

誰もが安心して利用できる介護保険制度を

問 今年度は第8期介護計画の最終年度。8期の計画の進捗は。

答 新型コロナウイルスの感染症の影響により、互いに助け合える関係性が希薄になっている。今後は、さまざまな活動や取り組みを回復させることが重要と考えている。

問 9期における介護施設の整備計画は。また、現状の利用希望者数は。

答 要介護3以上の人が利用できる地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護は、第8期計画において整備する施設で次期期間も対応できる見込み。また、令和5年4月時点で入所を希望されている方は58人となっている。

問 年金から天引きされる介護保険料が高く負担が重いという声が多く寄せられている。負担軽減を図るため、基金活用で引き下げるべきでは。

答 基金の活用については、事業全体の中で適切かつ有効に活用していく。

問 本市の認知症対策推進計画は。

答 県の計画とも整合を図りながら、第9期計画においては基本方向の二つとして位置づけ、計画策定に取り組んでいる。



櫻井 浩司 議員

栗東市健康運動公園のありかた

問 そもそも栗東健康運動公園は誰のための公園であるのか。

答 栗東市民の皆さんが、楽しく憩える公園であることを第に考えているが、馬を活かしたランドマーク的な要素を取り入れ、流入人口の増加を望んでいる。

問 当初20頭の繋養予定であったのが突然30頭になっていて、その理由が乗馬クラブの経営には、30頭が必要とのことだが参入予定の事業者は、皆が乗馬クラブの経営を考えているのか。

答 数者ある参入事業者の大半が乗馬クラブの経営を考えている。

問 20頭が30頭に増えることについて、そのリスクについてはどのように考えているのか。

答 現時点で頭数が増えることでのリスクは考えていない。

問 栗東市民の皆さんが、一部の人のための公園に誘致することを望んでいるとは考えにくいですが、市民の皆さんへのニーズ調査はしているのか。

答 市民全体へのニーズ調査は行っていないが、周辺の自治会への説明会は開催している。



▲栗東健康運動公園 建設予定地

議会トピックス

● 栗東市議会基本条例

より時代に即し、市民ニーズにあった議会活動が行えるよう一部を改正

栗東市議会の最高規範として平成25年に「栗東市議会基本条例」を策定しました。

議会改革特別委員会で協議を重ねた結果、現状にあわせた見直しを行うこととし、条例を一部改正しました。

■主要な改正点

- ①「災害時の議会対応」として、令和2年に策定した「栗東市議会災害対応とBCP」に関することを本条例にも追加する。
- ②広聴機能を充実させるため、議会報告会等、従来の形式に捉われることなく、時代に即した、より柔軟な手法により市民の意見を市政に反映できるようにする。
- ③本条例を今後も常に検証し、改善していくことを目指し、その姿勢を示す。



詳細はこちらをご覧ください

● 議員間討議

「栗東市の子育て」をテーマに議員間討議研修

12月25日に議会改革特別委員会で議員研修を開催。青森大学社会学部の佐藤淳教授を講師に迎え「『議員間討議』は『対話』から」と題して、講義とグループワークを行いました。議員間討議は、対話を深めながら、議会内の合意形成を創るプロセス。議会からの政策提言などにつながるため、議会としての重要課題にも位置付けられています。

今回の研修では、先進事例を学び、「栗東市の子育て」をテーマに、議員がそれぞれの思いを聞き合いながら、グループで意見交換。今後、市の重要課題に対して、対話を深めながらの合意形成を目指します。



委員会活動レポート

● 総務常任委員会

愛知県岡崎市、岐阜県中津川市でまちづくりを視察

10月19日、「QRUWA戦略 -乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画-」について、愛知県岡崎市を視察しました。QRUWAとは、名鉄東岡崎駅、岡崎公園などの公共空間各拠点を結ぶ3キロのまちの主要回遊動線。かつての岡崎城跡の「総曲輪(そうぐるわ)」の一部と重なること、また、動線が「Q」の字に見えることから命名され、戦略的に公民連携事業を展開し、回遊を実現させています。この波及効果により、まちの活性化、暮らしの質を向上させている様子を実際に現地を歩いて体感しました。



翌20日は、「公共空間を活用した官民連携のまちづくり -社会実験とその後のまちづくり-」について、岐阜県中津川市を視察しました。中心市街地の公共空間を、人の活動をまちなかに呼び込む「空間資源」としてとらえ、イベント等の活動拠点として活用する社会実験事業を実施。地域で活躍する民間事業者とともにまちを盛り上げるような企画を官民連携で展開されています。

社会実験も踏まえて、令和5年7月、子育て支援・市民交流・学び・観光の4機能を融合した「ひと・まちテラス」がオープン。この複合施設を視察しました。

社会実験も踏まえて、令和5年7月、子育て支援・市民交流・学び・観光の4機能を融合した「ひと・まちテラス」がオープン。この複合施設を視察しました。



●参加した議員の感想●

建物を建てただけでは市が活性化することではなく、何をどうしていきたいのかの未来像をしっかりと共有し、その過程で関係性を構築することが大切だと分かりました。まちづくり事業の持続が課題とされている中、岡崎市と中津川市では、関係性の構築により、まちづくり事業が持続されており、今後の希望を感じました。

こんな質問がありました

問 QURUWA戦略を進めるにあたり、市民とどのようにビジョンを共有し、一体となって進めていったのか。

答 平成27年度からシンポジウムや、まちづくりワークショップの開催により、ビジョンを共有していった。ワークショップでは、各分科会から、市民提案をもらった。

● 環境建設常任委員会

香川県坂出市、高松市で公共交通を視察研修

10月24日、「地域公共交通政策について～デマンド型タクシー・循環バス～」をテーマに香川県坂出市を視察しました。既存のデマンド型タクシー・循環バスなどの利便増進に関する多様な事業を展開されています。具体的な事業として、キャッシュレス決済アプリ「TicketQR」やバスの運行状況をリアルタイムで提供する「バスきよん?」(バスロケーションシステム)などを導入されており、また公共交通無料デーの実施内容やその効果について研修しました。



翌25日、「地域公共交通計画について」をテーマに香川県高松市へ。公共交通を基軸としたコンパクトなまちづくりを積極的に推進し、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に取り組まれています。具体的な事業として、乗合タクシー(どんぐり号)の利用方法や財政負担、中山間地域を運行するコミュニティバスにおける空白地域への試験運行の状況、タクシーを活用した新しい交通モード「バタクス」の実証実験などについて、その内容を研修しました。



▲坂出市の公共交通
キャッシュレス決済アプリ
「TicketQR」

● 参加した議員の感想 ●

坂出市は、中心部と過疎部がはっきり分かれていることも循環バスと乗り合いタクシーの棲み分けがしやすい要件であることから、国等の補助金をうまく活用され、高齢社会では必需であるキャッシュレス決済やバスロケーションシステムのアプリを導入され、公共交通に対する目線が市民と未来を向いていることに感銘を受けました。

こんな質問がありました

- 問 高松市で高齢者の運転免許証を返納された方への特典は？
答 70歳以上の自主返納者に対し①ゴールドイカ(交通系ICカード)1万円分②JR四国発行の四国ICOCAカード1万円分③タクシーチケット1万円分のいずれかから選択できる。

● 環境センター整備特別委員会

静岡県御殿場市、湖西市で環境センターを視察研修

11月9日に静岡県御殿場市の富士山エコパーク焼却センターへ。熱回収による発電や余剰電力の送電によりライフサイクルコスト低減、また、焼却炉から出た灰を路盤材・ブロックとして全量資源化の実施をされており、その内容を研修しました。



翌10日は静岡県湖西市の環境センターへ。平成10年に竣工、稼働した後に平成22年より近隣市に可燃ごみ処理を委託し稼働を運休。現在、令和6年からの再稼働を目指して令和3年より基幹改良を行い、試運転を実施されています。その事業方式はPFI事業(※)として先駆けとなるPFI-RO(民設民営)を採用。基幹改良や事業方式の先進地としての内容を研修しました。

	富士山エコパーク焼却センター (静岡県御殿場市)	湖西市環境センター (静岡県湖西市)
竣工年	平成27年(2015年)	平成10年(1998年)
処理能力 (1日あたり)	143t(71.5t/24h×2炉)	120t(60t/24h×2炉)
焼却炉形式	全連続ストーカ式	全連続流動床式
事業方式	PFI-BTO	PFI-RO

※PFIとは、民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共事業を実施するための手法です。

環境センター整備特別委員会とは「環境施設の整備、更新について」を審査するため令和5年6月より設置されています。

編集後記

「ねえねえ、今月の広報に入っていた【議会広報】って読んだ？」

家庭や学校、地域や友人の間で、そんな会話がされることを願いながら、今日も編集委員の真剣な議論が続きます。議会の内容や取り組みを「正確に、わかりやすく」はもちろんのこと、皆様読み手側の視線に立って、今後もしっかり作ってお届けします。(里内)

議会広報編集特別委員会

(委員長) 伊吹 裕 (副委員長) 谷口 律香

(委員) 里内 英幸 / 寺田 靖広 / 島田 利恵 / 奥村 明

● 表紙写真

生徒会活動でよりよい中学校に